

新しい“地域医療 DX モデル”の構築に向けて ヤマト運輸、和気町が実施する実証実験に参画

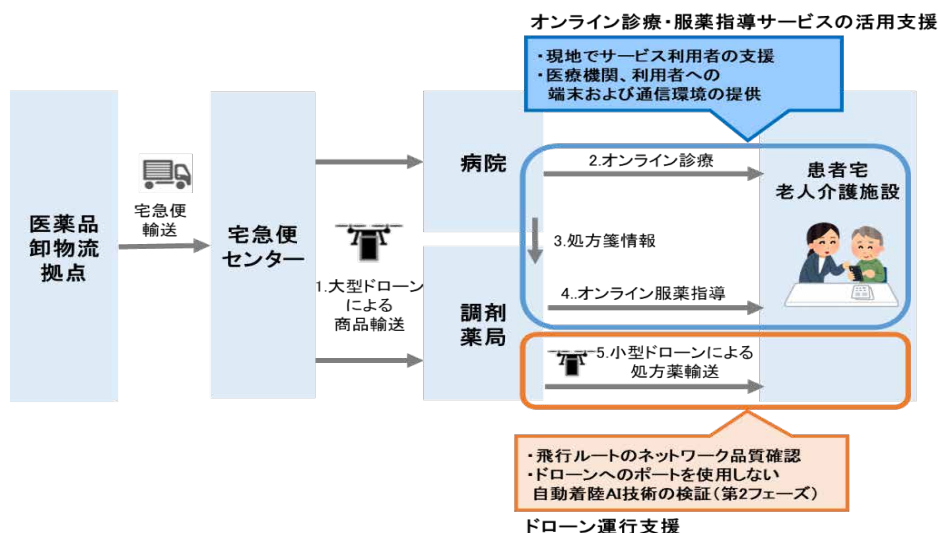
～持続的な社会実装をめざし、オンライン診療・服薬指導、ドローン飛行をサポート～

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、ヤマト運輸株式会社（以下、ヤマト運輸）と岡山県和気町が2021年12月6日（月）から実施する、持続的な医薬品輸送ネットワークの構築に向け、地域の医療機関が必要としている医療商材や個人宅までの処方薬などの輸送における無人航空機（ドローン）の経済的実現性を検証する実証実験^{※1}（以下、本実験）に参画します。

ドコモは、地域医療における課題解決のため、オンライン診療、オンライン服薬指導およびドローンによる医薬品配送の連携による新しい地域医療のDXモデル確立・推進をめざしており、その取り組みの一環として今回、本実験に参画します。

本実験においてドコモは、オンライン診療・服薬指導サービスの活用支援およびドローン運行支援を行います。オンライン診療・服薬指導サービスの活用支援では、本実験で使用される株式会社メドレーのオンライン診療・服薬指導アプリ「CLINICS[®]」^{※2}を利用者が円滑に利用できるように、現地でタブレット端末の操作などに関する支援を行います。そのほか、医療機関へのパソコンの提供および利用者へのタブレット端末およびSIMの提供を行います。ドローン運行支援では、「LTE 上空利用プラン」のSIMをドローン本体に搭載し、本実験の飛行ルートに対してシミュレーションや実測をした上でネットワーク品質や強度などの安全性を確認します。また、2022年2月以降に実施予定の第2フェーズにおいて、利用者宅などへ処方薬を輸送するドローン向けに、ドローンポートを使用しない自動着陸AI技術^{※3}の検証も予定しています。

＜本実験のスキームにおけるドコモの役割＞



今後もドコモは、ヤマト運輸やさまざまなパートナーの皆さまと連携し、新しい地域医療モデルの確立と持続的な社会実装に向けて取り組んでまいります。

※1 実証実験の概要については、以下のヤマト運輸の報道発表を参照ください。

・https://www.yamato-hd.co.jp/news/2021/newsrelease_20211125_1.html

・https://www.yamato-hd.co.jp/news/2021/newsrelease_20211206_2.html

※2 株式会社メドレーが提供するオンライン診療・服薬指導アプリです。

※3 本技術はドローンポートを使用せず、エッジ AI 技術による一般住宅エリアでの適切かつ安全な着陸を目標としています。

* 「CLINICS」は、株式会社メドレーの登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ
第一法人営業部 第三営業担当
Mail: mdp-release-ml@nttdocomo.com